

日本学術会議シンポジウム
—大都市改革の新たな展開—

主催：日本学術会議（政治学委員会）

《記》

～下記の通り、大都市改革シンポジウムについて、ご案内致します～

-
- 日時 2012年5月12日（土）13：30～16：45
（一般公開、入場料は無料。先着順に当日受け付けます。ただし定員300名）
 - 場所 日本学術会議講堂（東京都港区六本木7-22-34）定員300名
☎03-3403-5706（地下鉄：東京メトロ乃木坂駅3分）

●プログラム

司会 川井綾子（フリーアナウンサー）

《第Ⅰ部・講演》

- 13：30～13：35 開会挨拶 猪口邦子（日本学術会議政治学委員長）
- 13：35～14：05（30分） 基調講演Ⅰ「都区制度の現状と課題」
大杉覚（日本学術会議連携会員、首都大学東京教授）
- 14：05～14：35（30分） 基調講演Ⅱ「大阪都構想の実践と課題」
上山信一（慶應義塾大学教授）
- 14：35～15：05（30分） 基調講演Ⅲ「大都市と特別自治市構想」
林 文子（横浜市長）

（休憩）

《第Ⅱ部・パネルディスカッション》

15：15～16：45（90分）「大都市改革の新たな展開を考える」

パネリスト 林 文子（上掲）

上山信一（上掲）

大杉 覚（上掲）

小林良彰（日本学術会議副会長、慶應義塾大学教授）

亀井善太郎（東京財団研究員・政策プロデューサー）

永久寿夫（政策シンクタンク PHP 総研・研究主幹）

コーディネータ 佐々木信夫（日本学術会議会員、中央大学教授）

● ねらい

日本の大都市制度は大きな曲がり角に来ている。戦後間もなく5大都市でスタートした政令指定都市も半世紀余を経て20都市へ、大きく変容している。

一方、府県との2重行政、2元行政が問題視され、大阪都構想が打ち出され、また特別自治市構想も出されるなど、新たな大都市制度創設の動きも始まった。府県レベルの広域連合、府県に代わる道州制導入の議論も本格化してきている。

首長が中心に地域政党を形成し、大衆の支持を得て大きな改革に打って出る、新たな政治手法も生まれている。これら転換期に立つ大都市のあり方、大都市改革をめぐる新しい動向をどうみるか、本シンポジウムで多角的に考察する。

●主催 日本学術会議政治学委員会、同行政学・地方自治分科会

●共催 政策シンクタンクPHP総研、日本自治創造学会

●問い合わせ先

佐々木信夫（日本学術会議会員、中央大学教授）

☎042-674-3423（研究室）

日本学術会議事務局第一部担当 嶋津（☎03-3403-5706）

●詳細については日本学術会議ホームページ（イベント案内）をご覧ください。

<http://www.scj.go.jp>

●会場地図

東京都港区六本木 7-22-34

TEL：03-3403-3793（代表）

FAX：03-3403-1260

（アクセス）

東京メトロ千代田線「乃木坂」駅 5 出口

